



月例山行

各務原アルプス・各務原権現山 317m

6月30日(日)

柴橋、伴野、市橋、水谷、中村、織田



▲梅雨真っただ中の日曜日。朝から雨がしょぼふる中、雨中の山行を決行した。

9:05 に伊吹の滝登山口から登坂開始。つづら折りの上り道がしばらく続くが、よく整備されていて歩きやすい。チャート主体の山なので、雨中でも足が滑るようなことがないのもありがたい。

尾根まで上がると、蘇原自然公園遊歩道をのんびりと進む。途中、展望台で小休止。さすがに今日は雨にかすむ景色しか拝めないが、雨中に屋根のある展望台はありがたい。再び遊歩道をのんびり進み、権現山へ登る急坂に突入。最後の関門の急坂を登り切り、10:10 ごろ権現山山頂に到着。

屋根付き展望台で、心地よい風に吹かれながらしばし休憩を楽しむ。10:30 下山を開始。記念撮影を失念していたのに気づき、再度展望台に戻って撮影後、休憩なしで 11:20 に駐車場へ帰着。その後、人気うどん店へ急ぎ、入店待ちを余儀なくされたが、美味しい昼食を堪能しつつ、よもやま話を楽しんだ山行であった。——記録・写真：柴橋



▲ 開山前の富士山で遭難相次ぐ。富士山の山頂で6月24日に登山者とみられる心肺停止状態の3人が見つかり、いずれも死亡が確認された。雪の残る火口内で、それぞれ別のグループとみ

られる。26日山頂の朝の気温は0.7度。

また、8合目付近ではプロの登山家の男性が意識を失い死亡した。



富士山の山開き 7月1日 山梨側

▲ 一方7月に入り、富士山は山開きを迎えた。山梨側は、7月1日、静岡側は7月10日が予定されている。

1日は登山規制と通行料の徴収を導入した初めての夏山シーズンが始まった。強風で登山を断念する人もいる中、初日の登山者は約1700人。前日からの悪天候の中、5合目のゲート前には登山者が列をつくりスタッフが誘導に追われた。雨と強風に見舞われ、ご来光を拝むことはかなわなかった。また、風の影響で麓と5合目とを結ぶ富士スバルラインも一時通行止めになるなど、大荒れの山開きとなった。

通行料 2,000円

▲ インバウンド観光客の増加やオーバーツーリ



開山前夜祭 6月30日富士吉田市

ズムから、環境保全、遭難事故増加への対処などの観点から、山梨側の吉田ルートは通行料2,000円

を徴収することとし、1日4,000人の入山を限度とした。静岡側はルートが多いこともあり、検討中。

7月の月例山行は野登山に変更

▲ 7月28日(日) 予定していた舟伏山は、道路工事で通行止めのため、亀山市の野登山 851mへ変更です。